

第38号
題字 佐田一郎

発行 / 前橋商工会議所青年部 (緑水会) 前橋市日吉町一丁目8番地の1 編集 / 青年部総務広報委員会

代表幹事今年度の方針



前橋商工会議所青年部

代表幹事 小曾根 英明

我々、前橋商工会議所青年部(緑水会)は平成14年度に創立25周年を迎えました。先輩方が今日まで築いてくださいました努力に心より敬意を表し、感謝申し上げます。

6月7日、『記念パネルディスカッション、記念式典、記念祝賀会』を記念事業として行ない、また祝賀会においてクォータービジョン『緑水山荘計画』を発表させていただきました。クォータービジョンのコンセプトとして、原点復帰・新たな創造・熱き思いの語り・自然の恵みに感謝・地域交流の場の5つを挙げさせていただきました。

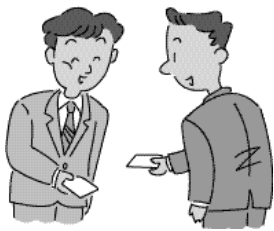
25周年という期に、「原点」に立ち返り緑水会のこれからのあるべき姿を考えた時、私達の思いはこのコンセプトに集約されると確信しております。これらを柱に、さらに30周年、40周年と発展してゆくことでしょうか。

平成14年度は、この様に記念すべき年であり、私はこの大きな節目の年に2年目の代表幹事を仰せつかりました事は、大きな喜びと共に多大な責任の重さを感じております。さて、今年度の方針ですが、「会員同士の

連携、地域との連携、作り上げよう元気な前橋経済！」をスローガンに、異業種の利点を最大限に生かし、青年部一丸となって地域の経済的発展の支えとなる様、頑張っていきたいと考えています。

また、昨年以上に魅力ある楽しいYEG活動を目指し、地域若手経済人としての役割を自覚し、歴史あるすばらしい緑水会の一員であるという誇りを胸に、会員皆様と共に歩んでいきたいと思えます。

緑水会発展のために、青年部皆様と事務局の皆様のご支援ご協力を賜わります様、お願い申し上げます。



新年度 副幹事の抱負



副幹事
嶋田 大和

昨年度に引き続き、今年度も小曾根代表幹事より副幹事を仰せつかりました嶋田です。三年目となりました。今年度は当緑水会の創立25周年および、前橋市市制施行110周年という節目となる年度を迎えました。

数多くの先輩方の努力と活躍により現在に至っております。ひとつひとつの日々のあゆみが、また一人々の力や知恵の結集が、大きな流れを創り前進するものと信じております。会員の皆様には是非、数多くの出席・参加をお願いいたします。

先行き不透明な厳しい社会状況で、経営者として公私ともに多忙な皆様と思いますが、月2回、委員会と例会にかかる約8時間の貴重な時間を仕事やスケジュールをコントロールして創りだしていただきたいと思えます。

今年度は全委員長とも新任です。会員全員の方で委員長を、さらに代表幹事をもりたて緑水会を発展させましょう。新しい何かが見つけられます。

この一年間よろしく願いたします。

新年度 副幹事の抱負



副幹事
長谷 浩 克

今回副幹事の指名を受け、大変名誉に思っております。また、25周年という記念すべき年に、伝統ある緑水会執行部の一翼を担い、会の運営に携わっていただけることを誇りとしてまいります。

私なりに副幹事の役割を考えてみますと、一番重要な役回りは委員会活動のサポートと捉えております。緑水会活動は委員会を単位として活動していくケースが多く、委員会での方針や対応により事業の運営の良し悪しが大きく左右されていると思えます。

副幹事として委員長をバックアップし、委員会の活性化を図っていければと考えております。

私も入会して5年程を経過いたしました。これまでの委員会活動に楽しく参加できたために、緑水会に積極的に係わることができたので、同様に考えている人が一人でも増えてくれれば、大変うれしいことだと思えます。

新年度 副幹事の抱負



副幹事
山 岸 直 樹

2002年、商工会議所青年部の活動は、第二期小曾根代表幹事のもと、始動しました。

現在は、景気低迷などにより言いようのない閉塞感が蔓延しています。逆に世界的イベントのサッカーワールドカップがアジアで初、日韓共催で初、と大変記念すべき年で盛りあがっています。前橋市は市政施行110周年、前橋商工会議所青年部は、創立25周年と記念すくめの年でもあります。

このような年に私は二年目の副幹事の大役をさせていただくことになりました。「元氣な前橋」を目指しさまざまな活動をしていく中で、商工会議所青年部の置かれている立場をもう一度良く考えるべきだと思えます。皆それぞれの目的があるのですが、同じ方向を見て活動する必要があるからです。そのために根幹を再確認すべきだと思えます。また、いろいろと情報が多い中でそれを生かす判断力を養っていくこともテーマとしていきたいと思えます。

何が出来るかわかりませんが「和」を常に頭におきながら行動していきます。

で、今年度もよろしくお願いいたします。

これからの私のテーマをあげさせてもらいますと、今後青年部が大きく、特にメンバー構成が変わっていく中で、自分ができるように携わって行くべきか、いけるのかを活動しながら積極的にさぐっていきたいと思えます。

一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

総務広報委員長として



総務広報委員長
岡 田 友 子

25周年という記念の年に、総務広報委員長という私には過ぎた大役を仰せつかり、大きな戸惑いと不安を感じておりますが、微力ながら精一杯努力してまいりたいと思っております。

入会間もない頃20周年を迎え、右も左も解らないながら委員長や先輩達の後をついて参加したことが懐かしく思い出されます。そして今、厳しい現実の中OBの諸先輩方や現役メンバーのご努力の積み重ねが、緑水会の歴史と伝統となり25周年を迎えることが出来るのだなと実感しております。

緑水会活動を通じて、様々な方々と出会う事ができ皆様の幅広い見識と、知識を学ぶ機会をいただける事はとても幸いです。

です。

本年一年間は一生懸命頑張りたいと思えますので、皆様どうぞご指導ご鞭撻、そしてご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

会員交流委員長として



会員交流委員長
阿 久 津 和 彦

平成14年度会員交流委員長という大役を仰せつかりました阿久津和彦です。

代表幹事より指名をされたときは、私では役不足ではという戸惑いもありましたが、大役を引き受けることにより緊張感が生まれ自分自身を成長させるいい機会だと思え、快く引き受けさせていただきました。

私は生まれてからこれまで、物事がスムーズに運んだことがありません。学業から就職、結婚などすべてが七転び八起きです。が今現在はいつも幸せだと思えております。このように感じられるのもやはり、良い関係の仲間がいるからだと思います。

緑水会に入会してからは、様々な業種の方、また年齢を超えたとてもよいお付き合いが出来て本当に良かったと思えます。夜のお付き合い以外にも礼儀作法な

ど様々なことを学ばせていただきました。今年一年、私と同じ思いをもてる会員が一名でも増えるように、「楽しくなければ緑水会じゃない」を大前提に楽しいイベントをみんなで起こしていきたいと思えます。

経営研究委員長として



経営研究委員長
田島 宏明

緑水会に入会して5年半が経過しました。当時は経営者という意識もまだ希薄でしたが、先輩諸氏に刺激を受けながら数多くの勉強をさせていただきました。今年度は委員長の役割を仰せつかり困惑しているのが正直なところですが、自分自身が経営のヒントを得られるような事業を展開していくことが皆様のお役に立てるものと考え、欲張らずに着実に委員会活動を進めていく所存です。

現在の経済環境は言つに及ばず、その先には人口の自然減という誰も経験したことのない大問題をかかえております。非常に困難な時代ではありますが、今こそ我々青年経済人が叡智を結集し突破口を切り開かなければなりません。

この5年間でインターネットも特別な物ではなくなりました。使えそうなツールは率先して取り入れ、限られた時間を

友好に使う委員会にしていきたいと思えます。最後にありますが、緑水会ホームページの積極的なご利用をお願い申し上げます。

地域開発委員長として



地域開発委員長
稲村 啓

今年度、地域開発委員会の委員長を仰せつかり、真剣に取り組まなければならぬ年を迎えました。

振り返ると緑水会に入会してから9年の歳月が経っています。自分自身を振り返り幾つかの問題意識がある事に気づきました。それは「緑水会の活動自体が、行事を消化しているだけのものになっていないだろうか」、「ただ単に、行政のサポート役だけに終わっていないだろうか」、「緑水会での活動が、自らの企業の役に立っているのだろうか」など、「本気になって取り組んでいるものがあるだろうか」など、いくつかの問題です。

自社にもよく、地域社会にもよいWIN WINの関係が築けるものが必要ではないかと思ひ、抱負をいたしまして7項目掲げようと思ひます。感動するもの。すがすがしさを感じるもの。無心に一生懸命になれるもの。会社に生

かせるもの。気づきや発見があるもの。地域社会に役立つこと。気持ちがいいこと。以上を抱負に委員会事業を精一杯やりたいと思っております。

事業推進委員長として



事業推進委員長
丸田 大介

本年25周年という節目の年に、小曾根代表幹事より事業推進委員長を仰せつかり、その責任の重さに身の引き締まる思いです。

すでに、ローズクイーンコンテスト、チャリティーゴルフコンペの参加者募集などの行事を行ないましたが、思うように進められず前委員長の小野さんの苦勞を痛感しています。

本年事業推進委員会の目標として、歴史のある会議所青年部の一員として「パツチの着用」、各種行事・イベントへの積極的な参加はもちろん、事前段階の参加・不参加の回答は必ずしよう、という以上二点を掲げ活動していきたいと思ひます。

今年一年、小曾根代表幹事、山岸担当副幹事をはじめとする執行部の皆さん、会員の皆さん、事務局の皆さんにご指導ご鞭撻を仰ぎ頑張っていきたいと思ひます。

青年部に入会して一年未滿の新入会員の方々に抱負や自社PRをしていただきましたのでよろしくお願ひします

自社PR



入会
平成13年6月4日
会員交流委員会
萩原設備(株)
萩原 勝

我が社は昭和43年に設立、以来衛生空調設備業を中心に取り込んでいる会社です。近年の業界を取り巻く厳しい環境の中で、「技術の向上と信頼」を大切にしております。

来年創立35周年を迎えるにあたり、自社の特色を明確にして行きたいと考えております。

この前橋商工会議所青年部の皆様との出合いを大切に、先ずは自分自身の成長を目標とし、これからも頑張つて参りますので、ご指導の程よろしくお願ひいたします。

自社PR



入会
平成13年12月4日
会員交流委員会
株式会社フレッセイ
植木 威行

フレッセイの前身松葉屋は、嘉永3年に鮮魚・塩干業者として創業開始し、昭和33年に松清本店として北関東初のスーパーマーケット第1号店をオープンさせました。

平成4年にCIを導入し、株式会社フレッセイとして生まれ変わりました。現在では群馬県を中心に48店舗を展開中です。「優良商品を通じて地域生活者の健康的な暮らしに貢献する」ことをモットーに、地域生活者にとってなくてはならない存在になるべく日々努力を重ねております。

自社PR



入会
平成13年12月4日
会員交流委員会
相模屋食料株式会社
江原 智香子

弊社は「豆腐・大豆加工食品」の製造販売をしております。前橋市鳥取町芳賀工業団地内に本社を位置し、商圏エリアは仙台から関東一円をカバーしており、昨年創業50周年を迎えさせていただきました。

社内スローガンでは、安心・安全・健

康をテーマに掲げ、社員一丸となって商品づくりに日々取り組んでおります。どうぞ、よろしくご願ひ申し上げます。

自社PR



入会
平成14年1月11日
会員交流委員会
池下工業株式会社
池下 敦洋

初めまして、平成14年度新規会員になりました池下工業の池下敦洋でございます。若輩者ですがご指導ご鞭撻のほどよろしく願ひします。

さて、私が所属しております池下工業について簡単にPRさせていただきます。当社は、大正2年2月に創始者池下弥一郎により前橋市にて土木請負業並びに砂利販売業力からスタートいたしました。その後、池下治作により昭和22年に池下組より池下工業株式会社と称し、総合建設業に組織変更をして昭和44年に池下久雄が新社長に就任、その後神保郎(現会長)社長をへて現在小島秀薫社長の基に社員100名あまりのスタッフで「社会・人・未来」を経営理念として、豊かな地域社会を実現し郷土の発展に貢献しながら、常に自然との調和を忘れず社員一同努めております。

当社は官庁を中心として土木・建築工事に努めて参りましたが、バブル経済の崩壊を経験した後に、今度は公共工事の見直し等建設業は厳しい状況になってき

ており、当社も過渡期に差し掛かっております。

私は現職の前は某大手ゼネコンに5年程技術畑で勤務した後、当社に入社して以来2年間営業部員として臍内をくまなく営業をしておりますがひしひしと肌で不況を感じている次第でございます。今は官庁工事もさることながら、民間工事にも力を入れて営業活動をしてゆく

為、社内の体制の強化(ISO2000版取得)と共に近年は低価格競争が激化して民間工事に対しても厳しい状況にありますが、安全と高品質で価格でも納得できる物作りに挑戦し、お客様に満足していただけること(CS)の強化を目標に歩んでいきたいと考えています。

今後は、異業種交流の出来る前橋商工会議所青年部緑水会を大いに利用させていただきます。諸先輩からの良きアドバイスをいただき社業へのヒントとなればと考えております。今後ともよろしく願ひいたします。

自社PR



入会
平成14年1月11日
会員交流委員会
石井造園盆栽部
寺澤 達也

我が社は東善町で造園、生花、盆栽業を営んでおり、私は盆栽部門で盆栽の整姿、販売を行っております。盆栽という堅苦しいイメージですが、自然美を

「鉢」の中に凝縮し、席飾りという形で観賞するもので、海外では「BONSAI」で通じるほど人気が高く、近年では国内でも若者の愛好家が急増しています。

盆栽は、四季や情緒を感じるだけでなく、生涯の友として楽しめるものです。お近くにいらした際には、是非石井盆栽にお立ちよりください。

自社PR



入会
平成14年4月4日
会員交流委員会
株式会社町田酒造店
町田 晶也

当社、(株)町田酒造店は明治16年の創業以来、「厳選一筋」をモットーに良質の酒造りを心掛けてきました。昔ながらの技術と伝統を継承しつつ、120年の歴史を刻むことができ、今でも清酒「清瞭」が皆様から支持を頂いていることは有り難いことでもあります。

当社若手の酒造り工員達も、伝統の酒「清瞭」を守っていくことと想っています。70歳になるベテラン酒造り杜氏と20代30代の蔵人達の息が合い、平成14年度も群馬県新酒鑑評会において「金賞」を受賞することができました。

自社PR



入会
平成14年4月4日
会員交流委員会
(有)ファン
高木 克 哲

緑水会に入会し、貴重な経験をさせていただき3ヶ月が経とうとしております。諸先輩の皆様、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

有限会社ファンは、現在テクノロジ技術の確立を目指し、インターネット事業を中心に前橋市国領町にて事業推進を営んでおります。現況では、ホームページのプロデュースから、システム開発等を行っており、今後はモバイル関連事業にも目を向け、インターネットの発展的な利便性を目指していきたいと考えております。

新入会員

入会
平成14年6月3日
会員交流委員会
群馬日野自動車(株)
中村 丙 午

新入会員

入会
平成14年6月3日
会員交流委員会
(有)アンマルシエ
中津山 俊 輔

創立二十五周年事業が盛大に開催される

平成十四年六月七日、前橋商工会議所青年部創立25周年記念事業として、パネルディスカッションが午後二時より県民会館小ホールにおいて、地元代議士衆議院議員佐田玄一郎先生、参議院議員山本一太先生並びに特別パネラーとして衆議院議員渡辺喜美先生と、参議院議員世耕弘成先生をお招きし、二時間に渡って「生き残れるか“群馬”」今語る熱き思いをテーマに、パネラー七名によって活発な討議を繰り広げられた。これを受



盛況だったパネルディスカッション



記念式典で挨拶する小曾根代表幹事

けて参加者からも数多くの質問が交わされた。

パネルディスカッション終了後、前橋商工会議所会館ロースにおいて群馬県知事・国会議員・県会議員・前橋市長様を初め数多くのご来賓をお招きして、厳粛

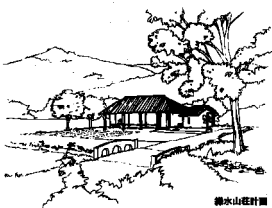


25周年に乾杯!!

かつ盛大に記念式典が挙行されました。

記念式典終了後、記念祝賀会が開催され、その中でクォータービジョン『緑水山荘計画』を荻野山荘計画委員長が現場写真を見ながら発表し、出席者から大きな期待の声があがった。

長時間に渡る各式典であったが、多くの来賓者に最後までご出席を賜り、すばらしい二十五周年式典であった。



緑水山荘計画

平成14年度前橋商工会議所青年部(緑水会)組織図

(順不同・敬称略)

- ・代表幹事 1名
- ・直前代表幹事 1名
- ・特別理事 2名
- ・副幹事 3名
- ・監事 2名(議決権無)
- ・理事 40名(正副代表幹事含む)
- ・役員合計 45名

会員数104名(6月3日現在)

